

## 図書紹介

### 医療者のための結核の知識（第2版）

医学書院（ISBN 4260000527） 2005年

定価 3,000円

著者 四元秀毅（国立病院機構東京病院 院長）  
山岸文雄（国立病院機構千葉東病院 院長）



わが国における最近の年間新登録肺結核患者数は約24,000人であるが、その約80%は咳などの自覚症状をもとに医療機関を受診して発見されており、結核は依然としていつでもどこでも遭遇しうる疾患である。これらの患者さんたちは結核に罹患していることを自覚して医療機関を訪れるわけではないので、医師の結核に関する理解が十分でないと、診断の確立が遅れ、感染は広がり病気は進展することになる。「結核は専門病院でみる病気、排菌者がみつかったらそこに送ればよい」という風潮があるようにみえるが、その前に的確な診断が必要であり、そのためには医師の結核についての基本的知識が不可欠である。また、看護師、薬剤師、検査技師、理学・作業療法士などのコメディカル・スタッフも結核患者に遭遇する機会が少なくないので、同様に結核についての理解を深めておく必要がある。

本書の初版本は2000年に上梓され幸い好評を得たが、2005年4月の結核予防法の改定を機会に大幅な書き直しを行った。内容的には結核の疫学・診断・治療の基本を解説し、さらに結核がどのような病気であるかを症例の紹介などを通じてわかりやすく説明したものである。また、結核予防法については基本事項を示しながら今回の改定の特徴を解説した。ご多聞にもれず結核も在院期間が短縮化される方向にあるが、この点については結核病学会などによる入・退院基準を紹介した。また、新たな工夫として「コラム」欄を設け、本文では触れなかった興味ある事項について解説した。

結核治療の比重は病棟から外来へと移行しつつあり、ちかいう将来には一般病院でもその診療にあたる機会がふえるであろう。このような流れのなかで、コンパクトながら充実した内容の本書が皆様のお役にたつことを願っている。

## 図書紹介

### 原稿募集

このコーナーへの投稿をお待ちしております。ご執筆された著書などの紹介を掲載しています。600～1,000字程度で編集室までお寄せください。

〒152-8902 目黒区東が丘2-5-1  
国立医療学会誌「医療」編集室「図書紹介コーナー」係宛  
e-mail: iryo@kankakuki.go.jp  
Fax: 03-3411-9421